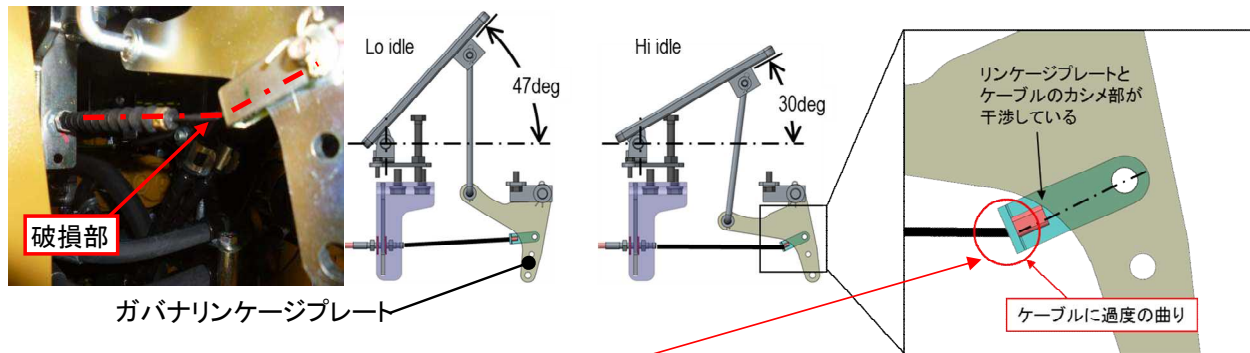


改善箇所説明図



不具合発生箇所

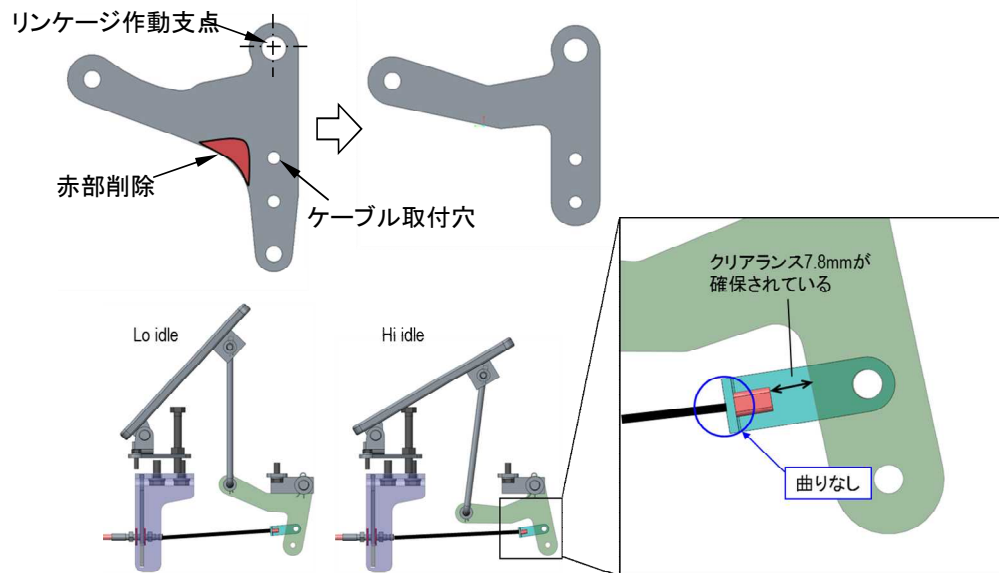
ガバナペダルの踏み込み操作をケーブルの引張り動作に変換するガバナリンケージ。カシメ部とリンケージプレートが干渉して、ケーブルに意図しない曲げが生じることがある

【基準不適合箇所】

ショベルローダの原動機において、ガバナリンケージプレートの設計が不適切なため、アクセル操作時にガバナケーブルに過度な曲がりが生じることがある。そのため、ガバナケーブルに無理な力が加わり、そのままの状態で使用を続けると、ガバナケーブルが切断し、アクセル操作ができなくなるおそれがある。

【改善措置の内容】

全車両、対策型のガバナリンケージプレートと新品のガバナケーブルに交換する。



識別 : 改善実施済み車については、キャブ後面ガラス左下、又は、左支柱下にNo.3628のステッカーを貼付する。